

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 147	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 三浦ダイコン‘中葉’の品種改良について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 三浦ダイコンは、正月需要向けの栽培が主体で7ha程度の栽培面積がある。近年では、直売等での優れた品質が見直され消費が拡大しつつある。 現在、主に利用されている品種の一つである‘中葉’は当農協が育成した品種であるが、滑らかな肉質など優れた面がある一方で、根部中央付近の根茎が最も太い部分が他の三浦ダイコン品種に比べ長い為、抜根時の抵抗が大きく、収穫労力が大きいため、栽培を敬遠する生産者も多い。また、昨今の野菜のコンパクト化に対応するためにも他の三浦ダイコン系統(品種)並みの「中ぶくら」形状への改良が強く望まれており、本品種の改良について県の支援をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 新規性・独自性に着目したかながわ特産品の開発		
対応の内容等	‘中葉’は現地で栽培されている三浦ダイコンの中で重要な位置付けにあることから、方策としては、花粉親の改良が妥当と考えられますので、生産技術部野菜作物研究課と連携して、現在、三浦半島地区事務所が保存している4系統を活用する方向で対応します。 今後、‘中葉’の両親品種および当所保存の4系統の形質確認等について、貴農協とも連携しながら進めていきますので、御協力をお願いします。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			